

平成三十一年

神奈川県造園人 賀詞交換会開催



発行所
一般社団法人
神奈川県造園業協会
横浜市中央区常盤町2-10
伸光ビル2階 〒231-0014
電話 (045) 662-8793
662-1767
FAX (045) 662-4381
年間購読料 3,240円
(郵送料を含む)
ただし会員の購読料は会費に含まれています。



<http://www.kanagawazozen.or.jp>

神奈川県内の造園・緑地整備に携わる業界人や行政関係者百六十名が参加し「神奈川県造園人賀詞交換会」が一月十五日、ロイヤルホールヨコハマで開催されました。

冒頭、世話人を代表して小山神奈川県造園業協会会長の挨拶に続き、浅羽義里神奈川県副知事より祝辞が述べられ、続いて桐生秀昭神奈川県議会議長の祝辞に続き、持田文男神奈川県議会自民党みどりの会会長より力強い励ましの言葉を頂き、平野浩一神奈川県公園協会理事長の乾杯の発声後懇談に移り、今年一年の期待と近況が語られ和やかに懇談が深まりました。

神奈川県副知事

浅羽 義里



神奈川県造園人の賀詞交換会がこのように多くの方々のご参加のもと開催されることを、心からお喜びを申し上げます。

早いもので、今年はラグビーワールドカップ決勝戦、準決勝を含む7試合が、この横浜地区で開催されます。さらには来年オリンピック、パラリンピック大会会場が、神奈川県では、横浜地区でもあります。江の島でセーリン

グ競技が開催されます。その翌年には、健康福祉祭ネーリンピックが開催され、多くの外国人の方々や他県からも神奈川県に訪れることと思います。その中で、多くの方々を和ませるのは、造園人の方々が造られている、みどりと花であります。この素晴らしい卓越した技術により緑陰を形成していただきたいと思います。

現在、江の島会場では造園業協会の方々とも私も行政と手を携え、この江の島の緑地形成をどのようにしたらよいか協同で話し合いをさせて頂いております。この年明けには、具体的な準備・工事を徐々にやっつけていく予定でありますので、発注者、受注者の枠を超えて、私どもと造園業協会の方々を手を携えてやっ

ていきたいと思います。皆様方におかれましては事業の発展、そして技術の向上とともに、都市緑化の推進明日の神奈川のために様々なところでご尽力を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。その中で、様々な課題もあ



神奈川県議会
議長 桐生 秀昭

今後とも、ご協力とご理解を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

きたいと思っておりますので、皆様方の変わらぬご協力宜しくお願い申し上げます。また、明治記念大磯邸園が、これからオープンしてまいります。貴重な建物群についていきますが、緑の部分については、神奈川県と大磯町になります。その中で、造園業協会の皆様方の卓越した技術力と知恵を提供して頂きたいと願っております。

ろうことと思いますが、我々議会は皆様方とともに課題を解決していきたいと思っております。入札問題も少なくなり、そして地域貢献をどうやってサポートしてあげられるか、また、人材不足がなによりも皆様の頭を痛めていることと思っております。この様な課題について、皆様とともに国・県できちつと議論し突破していききたいと思っております。

神奈川県議会
自民党みどりの会
会長 持田 文男

明けておめでとうございます。先程、小山会長、浅羽副知事からお話がありました大磯邸園、そしてオリパラが行われる江の島を、私共15名の議員で見させていただきました。

大磯は日本また神奈川の宝となるような場所であります。皆様方のみどりを創る技術をお借りさせて頂きながら、素晴らしい整備ができていけば、神奈川のまた大きな観光地の一つになってくるのかなど、立憲政治をしっかり後世に伝えていく、大事な場面が出てくることだと思います。

もう一方では、オリンピック・パラリンピックの会場でもあります。江の島に参りましたら山の方は本当に緑が豊富

なんです。お客様が歩かれるルートはアスファルト舗装であり、下草の灌木も少なく、もう少し立木がなくてはならないのではと思、副知事、局長にもお声をかけ、このところ樹木を植えていくという行政の動きになってまいりました。2020年開催まで、今年がタイムリミットでございます。しっかりと我々も共に考えさせて頂きますので、皆様方のお知恵を頂きながら外国の方々に素晴らしい日本を、神奈川県を見て頂きたいと思っております。

以上を申し上げます。あけましておめでとうございます。



神奈川県公園協会
理事長 平野 浩一

先程、小山会長のお言葉にありましたように2019年は平成から新しい元号へ変わる大事な一年ということ、いろんな解釈がございますが、その一つの中に次の時代に向けて植物の種子を蓄える時期、次世代への大事なスタートになる年だという見解もございます。そんな中で、本日お集まりの造園人の皆様方、神奈川県議会自民党みどりの会の先生におかれまして、素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして乾杯をさせていただきます。



神奈川県議会自民党みどりの会
会長 持田文男 並びにみどりの会の皆様

「庭園部会活動報告」

平成30年度の作庭塾庭守の活動は①昨年度に引き続き「小端積み」への取り組み②県立相模原公園内日本庭園「衆遊の庭」での維持管理作業③寺院客殿の雨落ち部分の縁石と石積工事の3本が大きな柱となっています。

【小端積み講習会】

①小端積みについて塾生の山田俊夫氏が次のようなコメントをくれました。

(談)前年度は材料選び、買い付けなどから自分達で行いその難しさも実感しました。今年度は新たに相木石を買い足し、高さ600、1200と2通りの課題で練習することにしました。

今回挑戦する高さ1200はエントランスなど外構工事でブロック塀に代わって自然石で塀を造ることが出来たらいいなと思いついてみました。1200まではまだたどり着けていません。

一番苦労したことは、角石を決めることです。正面、側面との角度や正面から見ると内側に少し傾けて積みたところですが、中々ちょうど良いのが無く苦労しました。自分でも納得のいく石が収まったときは達成感もあり、講師の方々に批評していただくことで自己満足に陥らず自分の技量やセンスを

再確認することが出来ます。

また講習会では皆の色々な個性ある小端積みの表情が見られてとても勉強になりました。(山田造園・山田 俊夫)



小端積みの講習会は塾生の鈴木寿樹氏が庭守の為に提供している圃場で以前から何度も行われ、それ以外にも有志が自主練習をし、作っては壊すを繰り返しながら各自が積極的に取り組んでいます。



②県立相模原公園内日本庭園「衆遊の庭」での維持管理作業については講師の渡部定男氏が次の原稿を寄せてくださいました。

【西側腐門補強工事】

昨年5月の管理作業の折、公園側より「庭門の門柱と控え柱がかなり腐食劣化が進み、場合によっては倒壊の恐れがあるので、補強工事をしてもらえないか、ついでに両側袖垣(鉄砲垣)も新規に直してもらいたい。」とお話があり、見積書提出の結果、OKを頂き8月25日の管理作業に合わせて施工しました。

以前の控え柱は、かなり傾いて作られていましたが



道路側から見て左側門柱が控え柱共特に腐食しており、対策として門柱は両方共、栗のナグリ柱を防腐剤塗布した後、抱き合わせボルト締めとし、圧着部は防水対策としてコーキング材を充填しました。

控え柱の更新は、刻みなど大工仕事で1日ではとても時間的に無理なので、私が事前にホゾ穴だけ彫っておき当日は小加工や立て入れで済むようにしました。とはいえ門柱からのヌキの角度が違うためと、安くない栗のナグリ柱ということもあり4人でほぼ1日かかる慎重な造作となりました。

この日(8月25日)は庭木の手入れや除草、地被や下草の植え付けも行われ、「衆遊の庭」はきれいに再生されました。



今回の工事で修正された目もきれいになったと思います。(有植定・渡部定男)

稿を載せます。

見て、納得のいかないものは壊してやり直すことを繰り返して今の自分たちで出来る最高の物を心がけて完成させていただきました。

【寺院客殿の石積工事】
私の菩提寺である密蔵院(横浜市泉区和泉町)におきまして客殿を建築することとなり、境内の整備と外構工事をご依頼から依頼され、平成29年の檀徒総会にて承認を受けプランニングから参加させていただくこととなりました。

その際、私がかねてより参加している「庭守」の講師・川田造園・川田秀一様並びに(有)植定・渡部定男様に相談させていただき、庭守の研修の場として協力して頂くこととなりました。

まず第一期工事として客殿の雨落ち部分の縁石と石積を施工して頂くこととし、周囲の環境と建物にあった材として相木(あいぎ)石の野面積みを行うこととなりました。

施工にあたり事前に現地での数回の打ち合わせを行い、(有)木下庭園管理の木下透氏に図面作成して頂き、採寸、作図のポイントも塾生皆にアドバイスして頂きました。

実際の作業にあたっては、使う場所によりどの様な形の石を使うか、大きさや模様バランスはどうか、加工の仕方はどうするか、加工のか等々、講師の方々と塾生と一緒に作業をする中で、その場面ごとに手本を示しながら進めていき、仕上がり具合を皆で検討し全体のバランスを

また、探せば直したいところは見受けられますが、今の自分たちの技量を見つめ、今後さらに向上させていく足掛かりとして、折を見ては改めて見直す為の場所になればと思います。

こちらのお寺での作業は二期・三期と続く予定で、ご協力いただきたい事は沢山あります。今後とも引き続きよろしくお願い致します。

平成30年11月4日現地打合せ

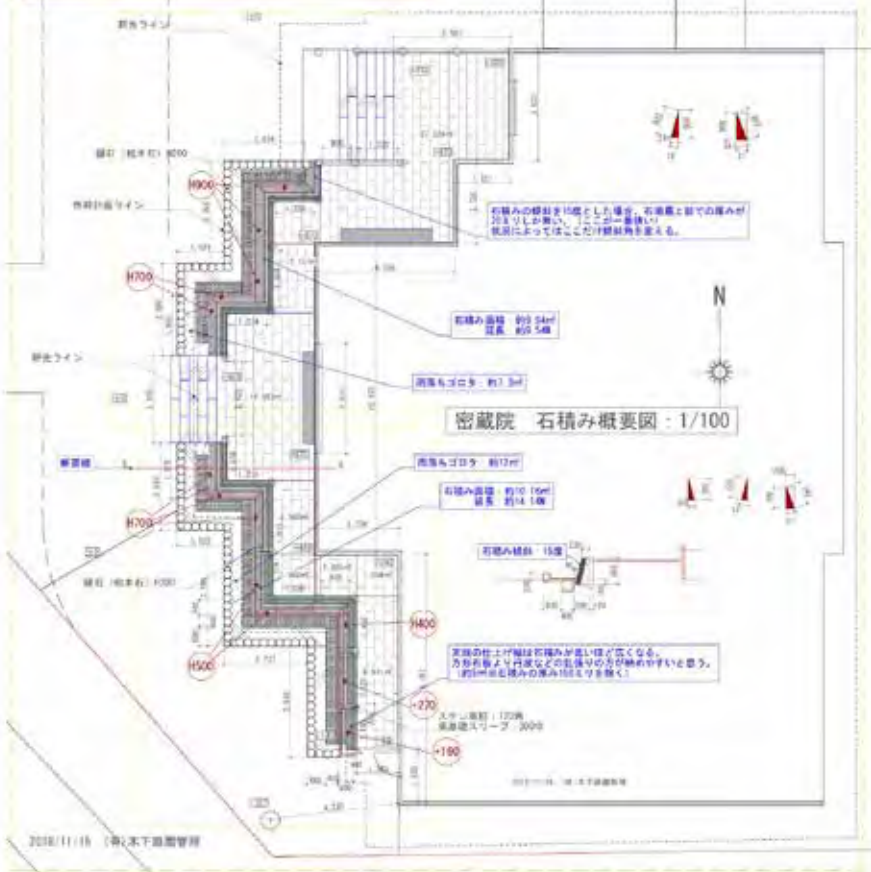
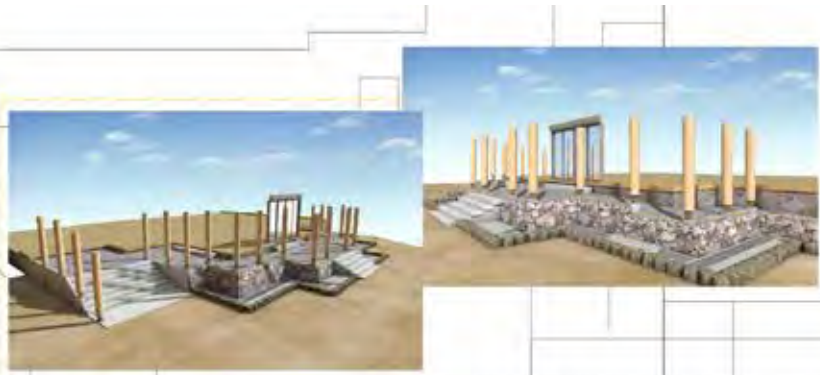


平成30年11月18日〜21日…雨落ち縁石据え付け



平成31年2月17日野面積み





庭守メンバー会議

現在作庭塾庭守は新メンバー6名を加え総勢28名で活動しています。10年前には何事も教えてもらう立場だった塾生が今や人の上に立ち人を教える技量を身に付け、造園業界ひいては社会に貢献できる人材へと成長している様は頼もしい限りです。
 (株)木下庭園管理 木下 透

「公園緑地部会活動報告」

東京オリンピック・パラリンピックセーリング競技会場「江の島」及び「明治150年記念大磯邸園」の現地視察及び意見交換

神奈川県造園業協会と日本造園建設業協会神奈川県支部は十一月二十七日(火)神奈川県議会自民党みどりの会と総勢30名がセーリング競技会場の「江の島」と「明治150年記念大磯邸園」の現地視察を行った。初めにセーリング会場の江の島を視察し、県からの整備状況等の説明を受け、その後、今後の整備内容や進め方等の意見交換を行い、次の視察先、大磯邸園では旧伊藤博文邸(滄浪閣)、旧大隈重信邸、旧陸奥宗光邸の建物及び庭園を視察後、今後の県の取り組みについて意見交換を行った。



旧大隈重信邸建物の前にて



旧大隈重信邸入口にて



江の島会場 北緑地にて



江の島会場 ヨットハウス屋上にて

その後、会場を変えて江の島の会場整備や大磯邸園にかかる県の取り組みについて、要望を含めた細かい意見交換が行われた。

平成30年度 校庭芝生化に係る情報交換会

公園緑地部会

副会長 北村善輝

十一月三十日(金)県立総合教育センター善行庁舎において、神奈川県教育委員会教育指導部保健体育課主催の校庭芝生化に係る情報交換会が、公立小・中・高等学校等の担当者

を対象に行われ、公園緑地部会校庭芝生化プロジェクトチームも講師派遣依頼を受け、情報交換会に参加し、その中で「芝生プロジェクト」の活動概要について「講演を行い、続いて、グループワークに参加し、維持管理等の指導を行った。

「かながわ建設フェスタin 日本大通り」開催

公園緑地部会

部長 原田満久

十二月九日(日)神奈川県本庁舎前 日本大通りに於いて、神奈川県及び(株)神奈川県建設業協会主催による「かながわ建設フェスタin 日本大通り」に神奈川県造園業協会と日本造園建設業協会神奈川県支部合同で出展し、日本庭園及び街路樹

のパネル展示と四ツ目垣の縄結びの実演と指導及び、(株)アオキグリーンの青木様のご厚意により、紫陽花のポット苗300鉢を提供して頂き無償配布するなど、また、マスコットキャラクター「かなぞう」も出演し、子供連れの来場者からも大変喜ばれ盛況のうち終了しました。



建設フェスタ出展の皆様方



建設フェスタに出演の「かなぞう」

造園技能士コースを終えて

平成30年度の「普通職業訓練短期過程造園技能士(1・2級)コース」が修了した。

昨年の十月からスタートして毎週土曜日15日間の102時間をかけた講習会は、職業能力促進法に基づき、「より高度の技術を習得」し「その職業に必要な技能を補充」することを目的とされている。

受講生の声

◆1級受講生

この度は造園技能士コースを受講させていただきました。講

嶋村雄記

師の先生方の経験や豊富な知識、造園の奥深さ、ノウハウなどお話しいただきとても有意義で楽しい時間を過ごさせていただきました。数多くの専門用語を理解し覚え実際の施工の仕方と内容を習得することができました。今回学んだ仕事やこの先の人生で発揮できたらと思います。

この度は、「造園技能士コース」を受講させていただきました。講師の先生方の知識や経験談はどれも興味深く、今後仕事をする上で必ず自分の為になる物だと実感しました。造園の歴史や基礎的な知識を改めて学び、新たな知識も上乗せでき大変有意義な時間を過ごさせていただきました。今後、今

◆1級受講生

佐藤真悟

この度は、「造園技能士コース」を受講させていただきました。講師の先生方の知識や経験談はどれも興味深く、今後仕事をする上で必ず自分の為になる物だと実感しました。造園の歴史や基礎的な知識を改めて学び、新たな知識も上乗せでき大変有意義な時間を過ごさせていただきました。今後、今

で役立たせ、自身の技術や技能を向上させていける様、日々精進して参りたいと思います。お世話になりました講師の先生方、事務局の皆様本当にありがとうございました。

◆1級受講生

神之園知香

この度は造園技能士コースを受講させて頂き、ありがとうございました。座学は少し心配でしたが、テキストだけでは学べない多くの講師の先生方の知識や経験に基づくお話しが聞けたことはプラス

◆2級受講生

横濱翔太

まずはじめに、「造園技能士コース」を開催していただきました神奈川県造園業協会、各講師の皆様にく感謝申し上げます。自分は職業技術校で造園施工必携を用いてある程度の知識を持って受講しましたがそれ以上に濃密かつ有意義な時間を頂戴できたのではないかと思います。特に講師の方々の実体験に加えて失敗談など今後の自分の成長に役立てたいと強く思いました。今回学んだことを自身のためだけでなく後に行ける後輩等に伝え講師らの思いと技術を紡いでいきたいです。

最後に重ねてになります。ご教授して頂き本当にありがとうございました。

◆2級受講生

菅原哲男

この度は「造園技能士コース」を受講させて頂きありがとうございました。私自身が造園の知識経験が浅いところに、各講義における先生方からの、わかりやすい説明と、実務における裏づけされた話は、造園施工必携やテキスト資料の理解を深める事ができたと感じています。また、日常業務の際にも受講した内容を意識してイメージする事により、造園業務のクオリティを上げることができていると思えます。今後も、教えて頂いたことを活かし、

日々、頑張っていこうと思えます。ありがとうございました。

◆2級受講生

中村ひとり

四月月、長いなど初めは思いましたが、終わってみればもう終わり？というくらい早く感じます。造園技能士コースはそれくらい私にとって勉強になることばかりでした。造園業界に足を踏み入れたばかりの私にも理解できる丁寧な講義をしていただいた講師の皆様感謝申し上げます。造園技能士コースに参加される諸先輩は技能士試験を前提で受講されている方々ですが、講義の内容は試験を受ける受けないに関わらず造園に携わる方々にも是非受けていただきたい内容だと思いました。造園業協会の皆様、大変お世話になりました。有難うございました。



内藤委員長 挨拶



1級修了証交付



2級修了証交付



神奈川県職業能力開発協会会長賞授与



(一社)神奈川県造園業協会会長賞授与



修了生答辞



富田講師より訓練総評



講師及び修了生



平成三十一年度
造園技能検定・実
技講習会・学科講
習会のお知らせ

○技能検定実技講習会

平成31年7月20日(土)・
21日(日)、平成31年7
22日(月)・23日(火)
(3級のみ要素講習なし)

○技能検定実技試験

平成31年8月3日(土)、
4日(日)、5日(月)の
うちいずれか半日

○技能検定学科講習会

(1・2級)
平成31年8月13日(火)

○技能検定学科試験

(1・2級)
平成31年8月25日(日)
(3級)
平成31年7月14日(日)

○技能検定実技・学科試
験申込期間

平成31年4月3日(水)
～15日(月) 9時～17時
土日はお休み

なお、詳細につきましては以下ご案内申し上げます。

●会員名簿の変更●
(平成29年度名簿)

新入会員

○川崎南支部

株川崎みらい緑化

代表者 矢野武征

住所 〒211-0045川崎市中原区上新城1-11-12

TEL044-751-2240 FAX044-750-9718

住所変更

○緑・東支部

唐戸園 (会員名簿P.26)

新住所 〒224-0011横浜市都筑区牛久保町1616

TEL045-911-0286 FAX045-911-0639

○神奈川支部

南高橋緑化建設 (会員名簿P.31)

新住所 〒221-0865横浜市神奈川区片倉2-62-20

TEL045-413-2667 FAX045-413-2661

○保土ヶ谷支部

常盤造園 (会員名簿P.35)

新住所 〒240-0035横浜市保土ヶ谷区法泉2-8-21

TEL045-353-1161 FAX045-353-1162

代表者変更

○緑・西支部

南白井庭園 (会員名簿P.28)

代表者 (旧)白井嘉明 → (新)白井寛

○湘南東支部

南石川造園 (会員名簿P.52)

代表者 (旧)石川隆 → (新)石川一隆



平成31年度造園技能検定のお知らせ

1. 造園技能検定実施日程

実技試験問題公表 H31年5月31日(金)

※職業能力開発協会でご公表します。受検者には受検票と共に課題(図面)を送付します。

実技作業試験 H31年8月3日(土)～8月5日(月)の内のいずれか半日

学科試験・要素テスト [1・2級] H31年8月25日(日) [3級] H31年7月14日(日)

合格発表 [1・2級] H31年10月4日(金) [3級] H31年8月30日(金)

2. 受検申請

①申請書記入要領 学歴……最終学歴及び学校の所在地・在学期間

職歴……造園関係のみ事業所名・所在地・電話・在職期間・職務内容

※免除資格のある方は、その資格書類のコピーを添付(免除資格は下記の4の③の通り)

②受検手数料

実技試験……17,900円/ 学科試験……3,100円/ 両免申請……無料

※若者の確保・育成を目的として、**35歳未満の方(昭和59年4月2日以降の生年月日の方)**が**2級又は3級の実技試験を受検する場合に受検手数料が9,000円減額されます。**

※一度納金された受検手数料はお返し出来ません。

3. 申請書の受付 受付場所……(一社)神奈川県造園業協会事務局 会議室

受付期間……H31年4月3日(水)～15日(月)9:00～17:00 土日はお休みです

※最終日は混雑しますので早めの提出をお願い致します。申請書には申請者の生年月日・

現住所・☎・最終学歴・学校所在地・職歴等・**申請者の身分証明書**が必要となります。

事前に申請書を希望される方は、郵送代を頂きます。事務局へ連絡のうえ「申請書取り寄せ申込書」をお取り寄せ下さい。

4. 申込みに必要なもの

①受検手数料 ②顔写真(縦4cm×横3cm)裏面に作業名(造園)、級別、氏名を明記

して下さい。実技及び学科受検者2枚、一部合格者1枚、両免申請者不要

③資格の有る方は証明書のコピー(一部合格、造園技能士コース、職業訓練指導員等)

④運転免許証等の本人確認書類の写し(縦6cm×横9cm)

5. 実技・学科受検対策講習会等の予定について

※実技講習会1・2・3級は7月20・21日(前半)、22・23日(後半)のいずれか2日間
2回に分けて、いずれも横浜農協きた総合センターで実施の予定です。

(注)3級のみ要素講習会はありません。

※学科講習会1・2級は8月13日(火)にかながわ労働プラザで実施の予定です。

※受講者の人数等により日時、場所等が変更になることもあります。

[照会先]

横浜市中区常盤町2-10 伸光ビル2階 (一社)神奈川県造園業協会

TEL 045-662-1767 FAX 045-662-4381 URL <http://www.kanagawazoen.or.jp>



事務局情報

(月間行事一覧)

●諸会議その他●

3/20(水)	理事・支部長合同会議 14:00～
4/9(火)	公園緑地部会等 14:00～ 16:00～
4/23(火)	指導員・検定員・補佐員合同会議 14:00～
4/25(木)	協会三役会議 14:00～
	各正副部長・各委員長合同会議 15:00～
4/26(金)	協同組合三役会議 14:00～
	協同組合理事会 15:00～
5/28(火)	協同組合総会 11:00～
	日造協神奈川県支部通常総会 13:30～
	協会総会 15:00～
	かながわのみどりを創り、育てるつどい 17:30～



Bridal Banquet
Stay Restaurant

ホテル横浜ガーデン

〒231-0023 横浜市中区山下町254番地

お問合せ 045-641-1311

<http://www.yokohamagarden.jp>

支部だより

戸塚支部

名木古木研修に参加して

石井造園株式会社 佐藤 一将

2月14日に名木古木研修会に参加し、青梅、奥多摩方面の歴史ある5本の樹木を見学してきた。奥多摩方面に初めて行ったが、自然が多く残り都会とは違い、自然と人間が共生しているように感じた。1本目は塩船観音寺の大杉。観音堂入り口の両脇に2本の杉があり、左側は幹周約5.7メートル、樹高約43メートル。右側は幹周6.6メートル、樹高40メートルある。樹齢はともに千年を超えており、東京都の天然記念物に指定されている。スギは真つすぐに高くそびえ立つ樹木であることから、神を祀る神聖な樹木とされ、古くから日本各地の社寺境内に植えられ大切にされてきた。そのせいか、日本の天然記念物に指定されている



塩船観音の大杉



師岡神社のシイ

樹木の中でもスギが一番多い。樹姿もさることながら根張りも力強く躍動感があり、今にも歩きだしそうな観音寺はツツジが約2万本植えられており、季節になると圧巻の美しさであることから開花の時期にまた行ってみたいと思う。

2か所目は市指定天然記念物である師岡神社のシイ。ここには2本のスダジイがあり幹周約5.3メートルと、約4.3メートルで樹高は共に約12メートルである。境内の狭い場所にあるが、その後も樹木の保護のために色々と処置が行われた跡があり、幹のいたるところにウレタン注入がされている。現在ではあまり行われない方法であるが、以前は幹の空洞を塞ぐためにウレタンを注入していた。また、ウレタン注入をしてから相当年数が経過しているようにウレタンは劣化してポロポロと崩れていた。樹幹からはキノコも発

生し、腐朽も進行していた。そのまま放置すると腐朽が進行する可能性があるため、この樹木を保護するためにには何らかの処置を行わなければならないように思えた。

4か所目は東京都指定天然記念物の氷川三本スギ。奥水川神社敷地内の奥多摩街道沿いにあり、根元近くから3本に分岐して、それぞれが直立してひとつの樹幹を形成している。樹高は約43メートルあり神社の神木として保護されている。これだけ大きいスギを見ると伊勢神宮の樹木を思い出す。3本の樹皮を見比べると、少しずつ樹皮の形状が違って面白かった。縦目なのは同じなのだが、樹皮が分厚いもの、薄く緻密なもの、とその中間のものがあった。兄弟でも個性があり性格が違うのは人間と似ている面白。

最後に訪れたのは西多摩群にある天正寺。このイチョウは樹高約24メートルの株立ちになっていて迫力があった。しかし、枝はかなりの大枝下ろしをされた



古里附のタブ



氷川の3本杉



集合写真

ねじれて苔むし、その貴族ある姿には心奪われた。

形跡があり、枝の吹き方に違和感があった。どんな理由で切られたのかは不明だが、のびのびしていた頃のイチョウはどのような樹姿だったのか見たかった。

今回の研修では、人が手を入れた樹木を見ることができて大変勉強になった。共通して言えるのは狭小な場所に植わっていることだった。よくこの場所でのみだけ大きくなり、倒れな

金子理事の指示のもとに作業が行われたが、生徒諸君も始めはぎこちない作業であったが、次第にこつをつかみ動きもすっかりしてきた。栗飯原支部長と青年部の栗飯原裕、石田、金子、川崎、永吉の各氏、ボーイスカウト指導者の小野氏の協力で植物や石を配置し、橋や袖垣などが設置される

と、校庭の一角に普段とは違った雰囲気が見れたこと、生徒諸君も驚いたようである。

午後3時までに校庭から撤収するため早めの昼食を済ませた。出来上がった庭園を違った視点から見ると、高い視点から鑑賞した。生徒諸君にもロープワークを手伝ってもらうために事前にロープの結束の仕方を練習してきてもらった。少し戸惑いもあったが練習の成果を発揮できたようである。校庭から撤収する



前に、生徒諸君を2グループ分けて自由に創作してもらった。午前中の体験を生かしたものができあがった。



生徒諸君と作品

横浜南支部 職業体験授業

教育研修委員 川島 一平

数年間にわたって継続している、中学生の職業体験授業が2月5日に行われた。中学生は横浜市立南が丘中学校の2年生の諸君6名である。

午前中は学校の校庭に、冬枯れの里山をイメージした庭を製作した。予めデザインされた図面を基に、校庭に石灰で植物や工作物、石組、小川や橋の配置なども印した。萩の袖垣や四つ目垣、延段を設置し家屋内から眺めるという設定とした。

校庭を片付けたあと金子氏の自宅に荷物を降ろすために向かった。生徒諸君は徒歩で餅井坂を通り、その際サクラ並木についての話を聞く。さらに青年部の金子氏より剪定の実習も行った。



延段据付



庭石運搬

ご協力戴いた方々ありがとうございました。



■石数寄者との出会いの旅 第七話

「何故 日本庭園は石なのか」

― 岩から磐 ^{いわ} そして石へ ― (五)

緑支部教育研修委員 (有庭工荒川 荒川 昭男)



前回まで

石が日本庭園作庭にあたって、欠かすことのない存在となつた歴史的背景は、石や岩を磐座・磐境として登場させた、古事記や日本書紀の更にも奥にあるものと推考し、同時に古代人と、現代人との石への思いの不变性をも探る。更に、人と石との最初の交わりである石器や、縄文人が残した土器土偶、それ等と日本庭園が持つ精神性、具象性との結びつきを考察した。又縄文社会で既に確立されていたと思われる分業と、物流や情報を含めた広域交流の可能性を、石器材料の流通から追つた。縄文時代の大型模配石遺構の紹介と、その意味するものを探ると共に、同時期にヨーロッパで出現した巨石文明の一端を紹介した。そして、縄文時代に登場した生命誕生や再生を願う石棒や丸石を紹介すると共に、後世庭石となる各石材が列島に姿を表した経緯を紹介した。

一. 先史より祀られてきた巨石

私が抱いている日本庭園における石の存在と思いは、一万年以上続いた縄文時代の、イヤ更に前の旧石器の時代に芽生えていたと思つています。哲学者の故矢内原伊作氏は著書の中

に、「中国の影響とは別に、禅思想が輸入されるはるか以前から、日本人は岩石の中に何か精神的なもの、あるいは精神に対して働きかけてくるある力を見ていたのではなからうか。

岩に注連縄をはつて礼拝するのは、岩を神聖視する気持ちのあらわれであり、土俗信仰においてもきわだった形の岩が信仰の対象になつている場合が多い」とのエッセイを残しています。

私が巡り会えた岩や石の多くは、現在神が宿り鎮座する「磐座」とか、住まう神を祀るための聖域を意味

する「磐境」、或いは神が依りつく「依り代」と、「古事記」や「日本書紀」の編纂によって登場した仰々しい名称で呼ばれています。その岩や石には注連縄がまかれ四手が下げられています。傍らに神社の社が建つていたり、或いは小さな祠が置かれていました。そもそも、古代の人々と岩との最初の出会いは、単純なものであつたと思います。

例えば日常の中で最も必要な食料、薪などの燃料、住宅の建築材、遠出を必要とする石器の原石などの探求や確保の過程で、何か引き付けられる岩との出会いがあつたと私は思っています。岩の不動性や存在感、再び会えた喜びと安堵感、そ

してなによりも、自分たちが持つものとは比較にならない、得たいの知れぬ力を感じたのではないのでしょうか。その度に心に湧き上がる「何か」が、徐々に熟成され、人々の心の中に岩や石を意識する気持ちが居つたのではないのでしょうか。勿論意識の中には集落周辺の山、川、海などの風景や巨木などもふくまれます。

岩に何かを感じた古代の人々は、そこにわざわざ定住したと思われず。国学院大学名誉教授で縄文文化研究の第一人者小林達雄氏はこのように述べています。「人類が定住することなく生

きていた旧石器時代以前は、人間は自然の秩序の中に組み込まれ、野生の動物達と同格でした。ところが、定住することになつてムラを営むようになる

と、自然からまず自分達の根拠地をもぎとります。そして、それまで歴史上見たこともないような、自分達だけの世界をつくるわけです。(中略)そして、クマとかサルとかとは違い、自分達は人だという意識を持ち、自然のものを観察する対象にするわけです。」

静岡の大宮神社などがあります。平安時代の延喜5年(905)から編纂が始まり、延長5年(927)に完成した「延喜式」の「神名帳」があります。伊勢神宮を頂点において、官幣社2395社の神社の序列化が目的だったようです。官幣社・国幣社とも更に大社・小社と上下に分けられています。

これら「延喜式」の「神名帳」にのる3132社を「式内社」と呼びます。「式内社」に載らない村々の社がどのくらいの数か分かりません。

私はどのような意味で、神社の序列化が出来たのかまだ勉強していませんが、この「式内社」周辺では、古代集落跡が数多く確認されているようです。



島根県雲南 須賀神社の奥宮 多くの庭園で様々な三尊石を見てきたが自然によって成就したこの迫力に勝る石組を私は知らない



岩手県遠野 巖龍神社の不動岩 上昇したマグマは高さ55mの岩盤を荒々しく切り裂き岩脈を残した 奇岩に昔人は何を見たのか



広島県厳島 弥山の山頂岩 山頂からは瀬戸に浮かぶ大小の島々 空海や平清盛が来島する遙か昔 厳島は縄文人の祭祀の場であつた



岡山県赤磐 岩神神社のゆるぎ石 赤土の狭い参道入口には猪捕獲の檻 今年既に2頭が村人の胃に納まった 我一人の参道は獣道

岩に何かを感じた古代の人々は、そこにわざわざ定住したと思われず。国学院大学名誉教授で縄文文化研究の第一人者小林達雄氏はこのように述べています。「人類が定住することなく生

きていた旧石器時代以前は、人間は自然の秩序の中に組み込まれ、野生の動物達と同格でした。ところが、定住することになつてムラを営むようになる

と、自然からまず自分達の根拠地をもぎとります。そして、それまで歴史上見たこともないような、自分達だけの世界をつくるわけです。(中略)そして、クマとかサルとかとは違い、自分達は人だという意識を持ち、自然のものを観察する対象にするわけです。」

静岡の大宮神社などがあります。平安時代の延喜5年(905)から編纂が始まり、延長5年(927)に完成した「延喜式」の「神名帳」があります。伊勢神宮を頂点において、官幣社2395社の神社の序列化が目的だったようです。官幣社・国幣社とも更に大社・小社と上下に分けられています。



島根県出雲 稲佐の浜の屏風岩 「記紀」にある「国譲り神話」のはるか前から古代出雲の人々はこの岩に途轍もない何かを感じていたようだ



和歌山県新宮 神倉神社のゴトビキ岩 最も古い熊野の自然信仰 ゴトビキとは蛙の方言 千四百万年前に噴出したマグマは蛙に神変



滋賀県大津 石山寺の珪灰石 石灰岩が花崗岩マグマと接触し変成した岩 付近から縄文時代の淡水貝塚発掘 紫式部らと縁のある寺



静岡県浜松 滑伊神社天白磐座 徳川家康の家臣伊直政の本拠地 関が原での東軍先鋒は有名 今日女性とそのパワーを得ていた



長野県立科 雨境峠の鳴石 狩猟や黒曜石の入手を願ったのか 或いは道中の無事を祈ったか 古東山道の石壇は祈念を受け続けた



長野県諏訪上社前宮弓立石 諏訪信仰起源石



兵庫県破磐神社のわれ岩 一億年前の流紋岩



広島県千光寺 石鎚山重なり合う花崗巨石群



京都市鞍馬寺奥院 3億年前の石灰岩が囲む



奈良県春日大社の出現石 社殿建築最初の社



岩手県櫻山神社の烏帽子岩 盛岡城内に鎮座



岐阜県金山巨石群 周辺から縄文人の生活跡



長野県諏訪大社本宮硯石 玉垣内の土着神



京都松尾神社 渡来秦氏が在来神も共に祭る



大阪磐船神社の天の磐座 天孫降臨伝説の地



島根県飯石神社 玉垣内の巨石が本殿となる



岡山県吉備津神社矢置石 伏石は蒼苔を纏う



島根県韓竈神社 渡来した鉄器文化に関係す



滋賀県阿賀神社船岡山 万葉歌人「額田王」詠う



京都貴船神社奥宮御船形石 御船を隠す空積



兵庫県重浪神社御船石 千五百年前の火砕流



滋賀県瓦屋寺 一石五輪塔の背後には影向石



長野県尖石遺跡 縄文村落内で砥石も兼ねる



埼玉県金鑽神社 岩断層の「すべり面」は血の彩り



滋賀県御上神社 山頂の巨石近江平野を一望



京都上賀茂神社山 本殿に向く頂上の巨石



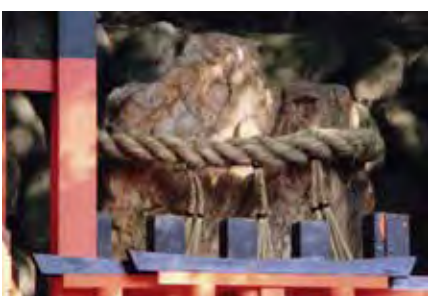
兵庫県岩上神社 拝殿と並ぶ石英粗面の岩塊



滋賀県赤神山 一億年前噴出の湖東流紋岩山



島根県揖夜神社 「塞れる石」黄泉比良坂に鎮座



京都稲荷大社 「立石」と呼ぶ白石はチャートか



滋賀県日吉大社 「金大蔵」は夏至の朝日に輝く



三重県丹倉神社 巨石の脇には「蝮に注意」警告



岩手県三ツ石神社 巨岩は節理で三石となる

二・岩から磐へ

縄文時代の人々が、二至二分に基づいて、集落やモニュメントの場所を決めていたと推測される遺跡があります。例えば、山梨県北杜市の金生遺跡は、冬至のときに正面の甲斐駒ヶ岳に太陽が沈み、同じく山梨県都留市の、牛石遺跡から見える三つ峠山の真ん中には、春分・秋分の日に太陽が沈むとこのことです。

青森県の三内丸山遺跡に立つ6本の巨木の間に、冬至の日に太陽が沈み、逆方向から見ると夏至に太陽が昇ると言われています。

モニュメントの巨木は、二至の日の出、日の入りを正確に捉えていたようです。

今までに集落跡を訪ねたときの印象から、縄文人の正確な季節感はいかほどかとは私には思っています。その縄文の人々が、各地で様々な環状列石を造りました。二百年以上かけて造り上げたと言われている

環状列石に関しては、先々号の「石と向きあつた縄文人」で取りあげたので、詳しいことは省きます。累々とした石を見る度に、驚愕と同時に「やりすぎ」とか「無駄骨」という印象が、頭を過ることもありました。しかし、それは現代に生きる私の尺度のようです。

距離を厭わず、膨大な数の石を人力で運び入れ、長い年月をかけて立て続けました。

そのような石に取り付けられる日々も、縄文人には必要だったようです。

考古学の先生方の様々な見解のほかに、私には石が語ろうとしている「何か」があるような気がしてなりません。

歴史が弥生時代、更に古



秋田県大湯環状列石 縄文後期六千石の石英閃緑岩を運び立てた巧者達いた日本最大の環状列石



静岡県上白岩遺跡 縄文中後期の祭祀遺跡と言われている 右上の石は200m先の大宮神社に向く



青森県小牧野遺跡 三内丸山消滅後複数の少数部族が三千石を配石 原始神道では立石を前立と呼ぶ



山梨県建岡神社 下部が一文字に切られたような丸石の重量は3トン程ありそうだと感じる古社



兵庫県久保良神社 創建は不明だが紀元前三百年頃から祭祀の場であった 後に磐座の石組が登場



滋賀県三井寺園城寺金堂閼伽井の石組 白鳳時代園城寺創建当時地元の白石で組まれた原初の三尊石



山梨県北杜市考古資料館 近くの金生遺跡を再現 妊娠呪術の祭祀と言う 縄文人の表現力はリアル



岡山県阿智神社 石 鉄 織の文化を持ち4世紀に渡来した阿知一族 帰属意識の証としての石組



楠築遺跡で見つかった亀石とも龍神石とも呼ばれる不思議な石 形も意図も今だに解明されていない



神奈川県比々多神社下谷戸縄文遺跡 集落内での祭祀によって背後の大山を神体山とし神社が成立



長野県森將軍塚古墳 県下最大の古墳を石英斑岩で覆う 殉死に変わる埴輪が善光寺平を見下ろす



岡山県楠築遺跡 八千年前の花崗岩を立てた弥生時代後期の墳丘墓 磐境を意識した立石は皆鋭い

墳時代に移行すると、米、鉄、青銅、文字、天文、暦、医、薬、織、呪術を含めた宗教、陶器、建築、土木、石、絵画、彫刻等様々な文化を携えた人々が、しかも大率して列島に渡来してきました。そのような時代の変化の中で環状列石は忘れられたようです。しかし、巨石や丸石に対する人々との思いは、全国に渡って静かに存在し続けたと私は考えています。

九州大学の宮本一夫教授

大和朝廷統一前の、「日本書紀」垂仁天皇の項に、天日槍がきたとの記載があります。天日槍が1人の人物をさしているのか、或いは集団なのか、古代史の方々の見解が分かれていたようですが、現在は集団との見解に落ち着きつつあるようです。

朝鮮半島の新羅から渡来した集団で、しかも渡来した際に持ってきたものが、太陽神を祭るための鏡、玉、刀、神籬であったことから、神宮、神社の原型をもたらしたとの見方があります。因みに垂仁天皇は、伊勢に初めて祭祀の祠を立てた

ことと、今までの習慣であつた殉死を廃し、出雲より土部を呼び寄せ、人身御供の変わりに埴輪を造らせ、陵墓に立てた天皇として歴史に記されています。縄文から弥生時代の移行は、今までの説を500年ほど遡り2800年前から始まり、次の古墳時代との年代区分は、最も早い近畿地方で3世紀半ばのことです。

化を担う技術を持って吉備(岡山県)に落ち着き、吉備の繁栄の基礎を築いたと伝えられています。その子孫の倭漢直は蘇我馬子の私兵となり、官人や軍人として権力者に密着し豪族となりました。

属意識の証を石組で表現しました。現在の倉敷市にある鶴形山には、中国より伝来した鶴亀の神仙蓬莱思想や、陰陽思想を導入したと伝えられる石組が残されています。渡来人が、自分達の持つ文化を基調にして造りあげた石組は、縄文から受け継がれてきた、石を祀ると言う日本の祭祀を尊重しつつ、自分達のアイデンティティを、そこにしっかりと織り込んでいくような気がします。異国での覚悟を秘めたようなあの力強い石組が、それを証明していると私は思っています。

石組に用いた石は、鶴形山を形成している石で、陰が残る厳しい石と、風化して丸みを帯びた石が、違和感無く自然な雰囲気でもまわっています。後の時代の、寺院方丈の石組と差異はあっても、唯違うのは、注がついていることだけです。

三、磐から石へ

平成6年(1994)に、「城之越遺跡」が発掘されました。最古の庭園遺構と発表されています。約1600年前の、4世紀後半に造られたとのこと。最も古いと言われている奈良県桜井市の、「上之宮遺跡」を2世紀以上も遡ることです。

遺構が整備され、公開されていることを知り出しました。奈良の桜井から伊勢行き私鉄に乗り、伊賀神戸駅下車。辺りの地名は比土と言います。比べる土とは少々変わった在り所名です。

田植えを終えたばかりの、清々しい水田に沿った道に、人の気配はありません。水田と里山だけの閑静な田園風景です。

遺構が造られた当時、この辺には垂仁天皇の皇子、池速別皇子の宮殿があったと伝えられています。「城之越」は垂仁朝の都であった纏向より、伊勢路を東へ約35キロ程の距離にあります。



三重県伊賀城之越遺跡 4世紀後半に祭祀の場として築造された。3ヶ所からの湧水は川から引き入れた



京都蛇塚古墳 5世紀後半嵐山の暴れる桂川に土木をもって大堰を築いた。渡来氏族秦河勝の墳墓



奈良県飛鳥酒船石遺跡 土木工事を好む齊明天皇の7世紀。渡来人石工による亀と小判形の導水施設



奈良平城宮東院庭園「記紀」が編纂されていた720年頃の養老年間に築庭。水深浅く曲池に広い洲浜



奈良左京三条二坊宮跡庭園 750年台の天平年間東大寺大仏開眼供養の頃築庭。池中立石の数多し

りました。聖なる山への畏敬なのか、素足の若者も何人か居ました。

山頂は、夥しい数の石が重なり合い、磐座は迫力に満ちていました。

「城之越」に話を戻します。近くの川から引き入れたと言われている、3ヶ所からの湧水は、護岸の石壁を抜け、一筋になり地下に消えていきます。

後世の造園用語で表現するならば、中の広い遣水が適切なようです。

流水の周辺では、祭祀に用いられたと思われる弓、剣、刀などの木製品が出土したとのこと。やはりこの遺跡も、古代の他の遺構と同様、一族の繁栄、農作物の豊穰など様々な願いのため、水を用いた祭祀の場として誕生したようです。このような祭祀の場が、日本庭園のルーツといわれています。

護岸や岬には複数の立石と、洲浜に見立てたゴロ太石が敷き詰められています。後の時代に誕生した池泉庭の洲浜石にくらべ、大きさが揃いで、角のあるゴロ太が目立ちます。

この洲浜の原形的作風は、後世の上品な洲浜にはない、力強さを醸し出していました。

洲浜に関する余談ですが、洲浜が最も美しい庭は、京都の仙洞御所と言われている。

光格上皇のときに、庭の大規模な改修があり、当時、京都所司代小田原城主の大久保忠真が、国元の小田原の海岸から、形のそろった輝石安山岩を11万個、米俵に詰めて京都に運ばせ、敷きつめたとのこと。

石は住民に集めさせたのですが、寸法に合う石を米一升と取り換えたことから、「一升石」とも呼ばれています。

「日本書紀」には、農を大切にする垂仁天皇は、800あまりの溜池や溝を造らしたと記されています。溜池や「城之越」の遣水のような、水が関係する治水工事には先進技術を持つ渡来人が活躍しました。

水を相手に活躍した渡来系の人物に秦河勝がいます。推古天皇の飛鳥時代に、本拠地の京都で活躍しました。秦河勝が活躍した時

代は6、7世紀の飛鳥時代とのこと。秦河勝は、山城国葛野郡で生まれたと伝えられています。現在の京都西郊の太秦や嵯峨野あたりです。当時、葛野を流れる葛野川(現在の桂川)は、頻りに氾濫したそうです。手つかずの荒地だった

嵯峨野を開発した秦河勝は、灌漑技術をもって葛野川に大堰、つまり水流の勢いを弱めるための段差を造りました。現在の嵐山渡月橋のすぐ上流の段差が、その名残ではないかと言われています。

嵯峨野の開発や大堰の造成は、京都の在来の倭人との融和を高め、それが秦一族による松尾大社の創建や、稲荷大社更には上賀茂神社との関係を結ぶのに、良い結果をもたらしたといわれています。その秦河勝の墳墓と言われている蛇塚古墳が太秦にあります。

覆土は失われ、石室がむき出しになっています。しかも、町屋にぐるりと囲まれ、初めて見たときは言葉が失いました。京都府下最大の、横穴式石室に用いられている石はチャートのようなです。最大の石で40トン

前後ありそうです。採石地は、距離的に仁和寺の裏の御室が、嵯峨野の小倉山あたりかなと勝手に思っています。いずれにせよ、重量のある石を大勢で引き、力強く積み上げています。

後の平安時代、庭造りの道楽で名高い太政大臣藤原道長が、自邸の庭に運び入れるため、道沿いの民家を壊しながら大石を数百人で引かせたと伝えられています。

ある時代では、以前の権力者の庭から新しい権力者が、庭石を勝手に持ち出すことが、京都では当たり前



京都龍安寺方丈庭園 作庭年代も作者も諸説あり。唯伏石に刻まれた二人の河原者の名が気になる



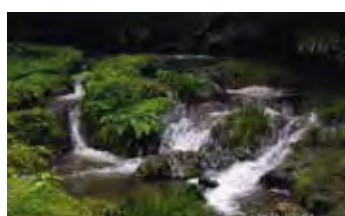
京都天龍寺 室町將軍尊氏の頃夢窓疎石天龍寺開山 7年前西芳寺庭園完成 曹源池の龍門瀑と石橋



毛越寺浄土庭園 平安時代後期の奥州藤原氏の庭園 東日本大震災は浄土まで揺らし池立石5cm傾く



兵庫県香住海岸 日本海に面する荒々しい景観を前に大陸からの渡来人達が思い描いた行先の夢は



島根県出雲鱒淵寺参道脇 日本の風土の至る所に日本庭園の景色がある 何所を切り取るかで決まる



京都野村別邸碧雲荘 昭和3年「植治」こと小川治兵衛円熟期に作庭 東山山麓五千坪に土橋と流れ蹲踞

あとがき

私は庭造りにおいて、「石とは何か」との課題を常に念頭におき、石と石、石と人の疎通を生みだすような、石組を心掛けてきました。しかし、今だに自分が望む石組を表現することができません。縄文の人々が、石に抱いた思いを辿ることによって、その糸口が見いだせるのではないかと考え、縄文の人々が思いを寄せた、様々な石を訪ねて来ました。

その過程で感じたことは、縄文人の想像力は、あらゆる分野で無限であるということでした。現代に生きる私が理解できないような、「単純なものではない」ということに気付きました。しかし、その「単純なものではない」ことに気付いたことが、石と対等に付き合ひ、疎通を生みだす、手がかりになったような気がします。今迄の、視点をガラリと変える必要があるということでした。

五回に亘る連載になりましたが、その間、中島専務理事、そして顧問の川田さんと情報委員会の皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申しあげます。